

＼おつひ小学校区/ 地域の未来 ミーティング

～みんなでつくろう！地域の拠点～

Season2【基本設計編】

NEWS LETTER ③

豊田市浄水中学校へ視察に行きました

10月8日（水）の午後、今年度の「おつひ小学校区 地域の未来ミーティング」の3回目として、複合施設の先進事例の視察に行きました。

視察先は、新設中学校と地域の交流館が合築でつくられ、約10年前に竣工した豊田市浄水中学校。

参加者は、市民と市職員・事務局スタッフなど併せて26人でした。

浄水中学校では、学校や交流館、豊田市の関係課職員などたくさんの方々の案内で、学校と交流館を見て回りました。また見学の後には、しっかり質疑応答をしていただき、貴重な学びの機会になりました。



1. あいさつ

浄水中学校は、市街化調整区域が外れて一気に宅地化が

進み、梅坪台中学校から分離してきた学校。教育熱心で地域に向けての思いも強く持っている方が多い。一方、まちづくりという視点では地域の区長さんや高齢者の方は危機感を持っていて、新しい方が地域に根付いて地区をしっかり支えてもらいたい、子ども達に浄水の地区を大好きになってもらいたいという願いを持っています。

そうした中で学校は、地域の方が参加できる学校でありたい。交流館に助けをもらいながら、中学生が地域の行事に参加したり、地域の方に学校の花壇の手入れをしていただいたり…ギブ&テイクでまちづくりに貢献できる学校を目指しています。



杉山校長

2. 見学



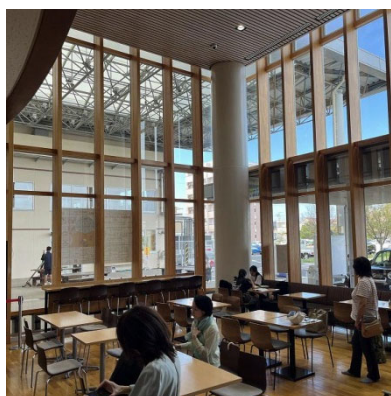
↑ エントランス広場に大きな屋根。明るく照らす電気もあり、夕方からは高校生が勉強したり、様々なイベントやコンサートをしたり交流の場になっている。



↑ 交流館図書コーナーでは生徒も雑誌など学校の図書室にはない本を読むことができる。



↑ 平日夜間と土日は、共有部と学校側をガラスの扉で区切っている。



↑ 吹抜けのコミュニティホール。地域の人や生徒がおしゃべりしたり、併設された子育てスペースで未就学の親子がつるぐ姿も見られました。



↑ 学校と交流館の間にある地域支援室は、地域コーディネーターの活動拠点。生徒による発案で、制服のリユース販売コーナーもありました。



← 共用部の多目的ホール、調理室、音楽室、美術室、実習室は夜間と休日に一般の方が利用可能。



交流館専用の部屋として、会議室、和室があり、フラダンスや将棋をする姿も見られました。

← 音楽室は個人のピアノの練習で使われるなど高い稼働率。

3. 質疑応答

校長先生、教頭先生、交流館の館長さんなど交流館を管理運営する豊田市文化振興財団の方、市役所の職員など、8名の方に質疑応答していただきました。

Q：セキュリティ面でのトラブルなどはないか？

A：トラブルは起きていない。「何か御用ですか」など声がけは積極的にしています。また、監視カメラを設置しています。

Q：学校と地域の連携は他の学校に比べてどうか？

A：豊田市にある学校の全てに、地域学校共働本部があり、地域コーディネーターさんが活動。学校によって活動量に差があるが、浄水中はたくさん地域コーディネーターさんがいて、つなぐ役割をしてもらっている。

Q：学校と交流館が近くにあるメリットは？

A：交流館が近いことで相談がしやすく、情報交換しやすい。交流館と地域学校共働本部が近い方が良いため、交流館に地域学校共働本部を置くところも出てきている。

Q：28の交流館を指定管理で委託を受け管理運営されている財団はどのような組織？

A：豊田市が文化振興のために出資している団体。館長は文化振興財団の職員。市から再任用、出向もいます。

Q：交流館には子育てスペースもありましたが、子育てサークルと中学生の関わりはある？

A：中学生のボランティア部の子が折り紙の作品を置いたりしている。中学生と自然に交流していると思います。

Q：減免はある？自治区の活動拠点は別にもある？

A：公共的な団体、ボランティア活動団体は減免対象になっている。自治区ごとに区民会館を持っている。

Q：交流館の図書コーナーを使用する年齢層は？

A：図書コーナーは市内全ての交流館にあるが、浄水は30～40代の若い人の利用が多い。



Q：交流館での事業は積極的に行っている？

A：市の事業を含めて28交流館それぞれで独自の事業、講座をしている。地域の方の声を取り入れて事業を組み立てるようにしている。

Q：夜や休みの日に悪いことをする若者への対策は？

A：今まで悪さは見ていない。夜21時まで屋根のあるエントランス広場に電気がついていて、近くの豊田高校の子達がベンチで勉強しているものもあるのかもしれない。大人が絶えず出入りしているので悪さにくい雰囲気はあるのかも。

Q：地区の活動の物を置く場所はある？

A：地区コミュニティの備品は交流館の様々な場所にある倉庫に収納。各団体の荷物は持ち帰ってもらっている。

Q：中高生が個人で貸室を利用することがある？その場合、減免はあるか？

A：中学生は自分で（予約システムによる）予約できないが高校生はできる。減免は年齢では定めていない。

Q：空調代はとっている？

A：豊田市ではエアコンを全ての体育館で設置しているが、学校開放の料金は一律の施設使用料だけで、空調代としては今のところいただいていない。

映像（竣工当時のもの）による学校紹介

- * 浄水中が目指すのは地域協働型の学校づくり。浄水中学校区の浄水北小学校と浄水小学校は、地域の人や団体がボランティアで特別授業をする土曜学習など、地域と学校が協力し様々な取り組みを行っており、浄水中はこの2校と連携を深めている。
- * 交流館まつりは中学校の文化祭と同時に行った。中学生の吹奏楽部のロビーコンサートには地域の方にたくさん見に来ていただき大好評だった。地域の方に中学生の魅力、力を披露できる場、活躍する場をつくっていききたい。
- * 生徒（地域委員）がどんな活動を地域と連携すべきか話し合い、地域のゴミ拾いや交流館での読み聞かせなど、身近にできる地域活動をしている。地域活動に参加することで、より地域を好きな子どもを育てたい。

校長先生よりあいさつ

エントランス広場は照明がつくともうすごくきれいでディズニーランドのよう。高校生もここが快適だから集まっているんだと思います。そこに行けば誰かに会える、心地よく過ごせる。

中学生は良からぬことを企んでいろいろやりそうな気もするんですが、お菓子を食べている子や、スマホでそこそそしている子もいるけれど、朝出勤してくるとゴミや飲み物が散乱していることもない。集まっている子達が自分達でうまく共生できるスペースとして使ってくれているんだな、まちを大事にしていきたいという子どもたちが育っているんだなと実感しています。

半田市役所 市民協働課

TEL (0569) 84-0609 FAX (0569) 84-0672

✉ s-kyodo@city.handa.lg.jp